



ビボールの診療所でワニに襲われた患者を治療するMSFの医師。この地域に重症患者を引き受けられる病院は、ほとんどない。

## 最大級の医療援助が続く 南スーダンの活動の現状とは？

特集

スタッフの声

### ヤンビオの活動終了に寄せて

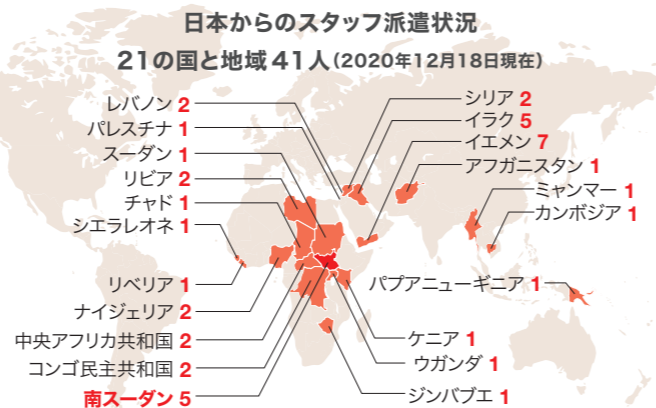
小児科医 岩川 真由美

### もっと知りたい! MSFスタッフの素顔

事務局長 村田 慎二郎

### チーム国境なき医師団の輪

小学生向けプログラム「世界といのちの教室」



昨年10月25日に開催された、第1回「世界といのちの教室」には、全国から17人の子どもたちが参加。真剣な質問や白熱した議論が大いに盛り上がりました。

### 参加した子どもたちの声をご紹介します!

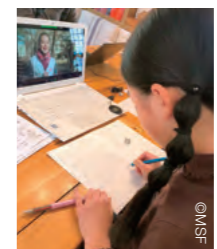
「自分はいつも病院に行けるのに、私より年下の子が助からないこともあると聞き、何かできることをしたいと強く思いました」

「考える内容はなかったけど、大切なことだから見ないことにはしたくない。事実は知らなきゃいけないし、考えるべきだと思います」

「命の重さに違いはないけど、優先順位をつけないと助かる命を助けられなくなるから判断しなくてはいけないという責任の重さに押しつぶされそうでした」

MSFでは、小学5・6年生を対象に、「世界といのちの教室」を実施しています。このプログラムは、将来を担う子どもたちに世界各地の人道問題に関心を持ってもらい、人道援助に対する理解を日本社会にさらに根付かせていくことを目的に、MSFが開発。現在はコロナ禍のため、オンラインで開催しています。

「自分たちは、最前線の現場は、ときに優先順位をつけなければならぬ」といった事態とも向き合います。世界各地で活動しているMSFのスタッフの話は、もちろん、動画やクイズも交えつつ、その直面するシチュエーションを疑似体験してもらい、答えのない問いに子どもたちが挑みます。



真剣にノートを取りながら参加してくれた女の子。

### 次回開催のお知らせ

ぜひ、お子さんやお孫さんとご参加ください。

日時: 3月14日(日)10:00~12:00  
(募集期間: 2月15日(月)~2月28日(日))  
4月11日(日)10:00~12:00  
(募集期間: 3月15日(月)~3月28日(日))  
実施方法: 両日ともZoom(オンライン)  
定員: 各回20人

5月から毎月開催予定!  
詳細・申込はこちらから

[www.msf.or.jp/study/school.html](http://www.msf.or.jp/study/school.html)

スマートフォンから▶



## ニュースレター ACT! 2021年2月号

発行元 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 FORECAST早稲田FIRST 3F

寄付・ご登録情報 に関するお問い合わせ

TEL 0120-999-199 通話料無料 平日9:00~18:00/ 土日祝日、年末年始休業

※ご住所に変更がある場合は、上記までご連絡ください。  
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、場合によっては寄付によるお手続きや領収書の発行といった、事務対応に遅延が発生する可能性があります。何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

遺贈 に関するご相談・お問い合わせ

TEL 03-5286-6430 担当者直通 平日10:00~17:00/ 担当: 荻野、今尾

国境なき医師団は、世界約70の国と地域で活動する、民間で非営利の医療・人道援助団体です。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕した人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。年次活動報告書 [www.msf.or.jp/library/annualreport/](http://www.msf.or.jp/library/annualreport/)

ぜひチェック＆フォローしてください

公式ウェブサイト [www.msf.or.jp](http://www.msf.or.jp) Facebook [msf.japan](https://www.facebook.com/msf.japan) Twitter [@MSFJapan](https://twitter.com/MSFJapan)  
最新ニュースやメディア出演情報、イベント情報などをお知らせ

Instagram [@msf\\_japan](https://www.instagram.com/msf_japan) LINE [@msf\\_japan](https://www.line.me/@msf_japan) YouTubeチャンネル 国境なき医師団日本  
活動中のリアルな風景や、スタッフ・患者さんの姿をご紹介します。最新ニュースやイベントのご案内、音や風景ともに活動地の様子がわかる

### ご確認ください

#### 領収書のお届けについて

2020年に入金いただいたご寄付の領収書の発送は、本年1月末までに終了いたしました。ご不明点などは、0120-999-199までお問い合わせください。例年、この時期は電話が大変混み合います。早めにご連絡をいただけますようお願いいたします。

#### 確定申告について

国境なき医師団日本への寄付は寄付金控除の対象となります。当団体の領収書を添付の上、認定NPO法人に対する寄付として確定申告を行うことで、税金が還付されます。確定申告に関する詳細は、最寄りの税務署または国税庁のホームページ [www.nta.go.jp/index.htm](http://www.nta.go.jp/index.htm) をご確認ください。

#### 海外派遣スタッフ、ボランティアを募集中!

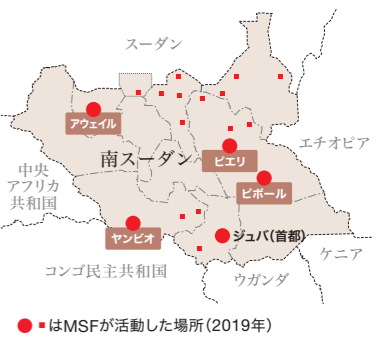
ご興味のある方はこちらから [www.msf.or.jp/team\\_msf/](http://www.msf.or.jp/team_msf/)

スマートフォンから▶



# 最大級の医療援助が続く南スーダンの活動の現状とは？

2011年に独立を果たしたものの、長引く紛争により圧倒的な医療不足に苦しむ南スーダン。昨年からは激化している武力衝突と、各地を襲った大洪水が、人びとをさらなる窮地へと追い込んでいます。皆さまの寄付によって実現している活動と、いま南スーダンで求められていることの一部をご紹介します。



## 南スーダンってどんな国？

半世紀にわたる内戦を経てスーダンから独立した、世界で最も新しい国です。しかし紛争はまだまだ止まず、保健医療のほとんどを人道援助に頼らざるを得ない状況です。MSFは独立前の1983年から同地で活動を開始。暴力の激化といった状況の変化を注視しながら、基礎医療の提供や感染症の予防・治療など、多岐にわたる活動を続けています。



無事に生まれたわが子を、優しく見守る両親。MSFでは家族計画などへの理解を深めるアウトリーチ活動<sup>※1</sup>にも注力（ヤンビオ、2015年）。

**ヤンビオ**  
14年間の活動を委譲。皆さまのご支援のおかげでできたこと

「**国**」境なき医師団（MSF）の活動が終了するということは、ヤンビオに現地の医療従事者が育ち、地元の人びとの健康を守るようになったことを意味します。本当に喜ばしいことです。そう語るのは、2014年に小児科医としてヤンビオの州立病院に派遣され、現地スタッフの指導にも当たった、岩川真由美。昨年7月、14年にわたった同地での活動は、健康・人道状況の改善を受けて、無事に現地保健省に引き継ぐことができました。

MSFは2006年、サハラ以南のアフリカで見られる寄生虫感染症であるアフリカ睡眠病への対応をきっかけに、ヤンビオでの医療援助を開始。流行が終息してからは、マラリアの対応に力を注ぎ、治療ができた患者さんは、皆さまのおかげで12万人以上にも上ります。

このほか、紛争被害者の心のケアや現地保健省と連携したHIV／エイズ患者への援助など、地域のさまざまな医療ニーズに対応。またリスクの高い自宅出産による妊産婦死亡率も非常に深刻だったことから、MSFは村々に赴き、産科医療の必要性を人びとに説明すると同時に、緊急帝王切開を含む安全な分娩の介助を無償で提供しました。そのかいあって州立病院での出産件数は、2011年から2014年までに約2倍にも増加。MSFは今後も状況を見守っていきます。

ルピエリの診療所では、特に衝突がひどかった2020年7月から8月初旬にかけて、1週間で100人以上もの負傷者の治療を行いました。また、南スーダンには重症患者の治療を行える病院がほとんどありません。そのためヘリコプターで3時間半かけて、別の町のMSF病院まで搬送しました。加えて7月以降、大洪水が発生。活動責任者のイブラヒム・ムハンマドは「洪水に見舞われたのは、以前から暴力が続き、食料不足も深刻な地域です。そんな中で人びとはさらなる打撃を受けています」と話します。新型コロナウイルス感染症の流行で物資と人員の輸送にも影響が出る中、一人でも多くの命を救う奮闘が、いまも続いています。



MSFが運営するルピエリの一次医療センターに、負傷者を搬送する現地スタッフ。

**アウェイル**  
地域の母子医療を一手に引き受ける

**南**スーダン北東部にあるアウェイル病院は、約150万人の命を引き受ける基幹病院で、MSFは産科と小児科を中心に支援し、無償で質の高い医療を提供しています。活動開始から13年がたちますが、食料不足による栄養失調児の増加やマラリアの大流行など医療事情は依然として厳しく、遠方から数日かけてくる母子の対応などで、24時間フル稼働しています。



熱湯で足をやけどしてしまった赤ちゃん。

※1 アウトリーチ活動：こちらから出向いて、医療援助を必要としている人びとを見つけ出し、診察や治療を行う活動。



## Staff Story—スタッフの声

### ヤンビオの活動終了に寄せて

小児科医 岩川 真由美（2014年6～12月に活動）

MSFが支援するヤンビオの州立病院には、いろいろな民族の患者さんが来ました。話す言葉も違えば、宗教もさまざま。トゥクルと呼ばれる茅葺き屋根と泥壁の家に暮らし、薪で火をたき、誰もが明るく家族をとて大切にしている、私たちの医療援助についても信頼してくれていました。ただ助かる見込みがなくなったときには敏感にそれを感じ取り、救命措置を断固拒否してわが子を家に連れ帰りました。死は私が考えるより生活の中にあり、あらがうより受け入れるという態度でした。その謙虚さに接すれば接するほど、子どもの命を助けられなかった自分がふがいなくつらかったです。あのヤンビオがこれからも平和であるよう祈ると同時に、長きにわたりご支援をくださった皆さまに、心から御礼を申し上げます。



©Mathias Steinbach

**ルピエリ**  
**ビボール**  
孤立を深める人びとに医療を！

**部** 族間抗争の激化によって、数千人の住民が避難を余儀なくされている、北東部のジョングレレイ州と大ビボール行政区。ジョングレレイ州

## もっと知りたい！MSFスタッフの素顔

MSFで働くスタッフって、どんな人たちののでしょうか？ 人道援助への熱い思いから、意外な一面までをご紹介します！



事務局長  
村田 慎二郎

**自己紹介** 三重県出身です。幼少期は大阪で過ごしたので両親とは関西弁で話します。2005年から海外派遣スタッフとしてMSFに参加。昨年8月、日本事務局長に就任しました。

### 質問1 人道援助に興味を持ったきっかけは？

大学を卒業後、外資系IT企業の営業職をしていましたが、世界の中で一番弱い立場にある人たちのために、直接何かできないかと考え始めました。そんな時偶然出会ったのが、難民への人道援助に尽力されていた緒方貞子さんの本でした。読み終えた後、自分が今後すべきことは、このままでは消えてしまうかもしれない命のために働くことだと感じました。

### 質問2 MSFを選んだ理由は？何だったのでしょうか？

まずは憲章に強く共感したこと。そして活動費の9割を民間からの寄付でまかなっているという独立性です。でも選考にはなかなか受からず2度落ちました。2004年によく通ったものの、派遣先が決まるまで1年半かかり、「いつ行けるのだろう」と不安を抱えながらアルバイトに明け暮れていました。人生で2番目に大変だった時期です。

### 質問3 いつも応援してください！支援者の皆さまへメッセージを！

昨年8月に就任しましたが、これまで現場で培ってきた経験や、肌で感じていた課題を事務局長としてどう向き合うか、支援者の皆さまによりMSFの活動への理解と関心を深めていただくために何ができるか、力が試されると思っています。事務局スタッフ一丸となって頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします！

### 活動地のこと、事務局のこと。事務局長に聞いてみませんか？

事務局長の村田が、皆さまの疑問・質問にお答えします。①お名前②支援者番号③ご年代(任意)をご記入の上、裏表紙の住所の「ACT! 事務局長への質問係」までお送りください。ご質問と回答は、お名前・ご年代と共に「ACT!」誌面ほか公式ウェブサイトやSNSなどでご紹介する予定です。匿名ご希望の方はその旨をご記入ください。全てのご質問にお答えできない場合がございます。

- WEBでも受付中！  
[www.msf.or.jp/gd/question/](http://www.msf.or.jp/gd/question/)
- 個人情報の取り扱いについて  
[www.msf.or.jp/policy/](http://www.msf.or.jp/policy/)



スマートフォンから▶

動画レポートなども！  
南スーダンの最新情報はこちらから

[www.msf.or.jp/news/south\\_sudan.html](http://www.msf.or.jp/news/south_sudan.html)

スマートフォンから▶

### 皆さまのおかげでできたこと(2019年)

日本からの支援金  
**5億8500万円**  
(支援金総額 8540万ユーロ)

日本からの派遣スタッフ  
**11人**  
(活動したスタッフ数 3615人)

南スーダン

**112万900人**  
を診療

### 人びとはどんな状況？

**750万人**<sup>※2</sup>が  
援助を必要としている

**130万人**<sup>※2</sup>が  
栄養失調に